海風（かぜ）

社会医療法人
社会福祉法人
松涛会広報誌
No.77 令和６年 春号

松涛会理念　医療・介護・福祉の連携により、地域社会に貢献いたします 。～あなたの歓びが、私の生きがいです～

撮影　松谷 法史

令和５年度 社会福祉功労者に対する厚生労働大臣表彰伝達式が、令和6年1月30日に市長応接室で行われました。
コロナ禍で東京の厚生労働大臣室に行かなかったので、２か月遅れの伝達式でした。
この表彰は、「社会福祉等に２０年以上に渡り永年従事し、現在も在職中の方が対象」となるそうです。
「市内に4つの拠点、２４の福祉事業を展開し、多くの高齢者やそのご家族の方を支え、下関の福祉行政に貢献したこと。又利用者本意の姿勢を理念として、経営を行ったこと。」との評価を戴きました。
特別養護老人ホームがまだ「養老院」と言われていた時代、特養設立の相談に市役所に伺ったのを、きのうの様に思い出されます。
何よりも、職員の皆さん、地域の皆さんと一緒に歩んできた結果の表彰であると感謝の気持ちで一杯です。
前理事長が元気だったらどんなに喜ばれたことでしょう。有難うございました。今後共宜しくお願い致します。

社会医療法人松涛会 / 社会福祉法人松涛会　理事長　斎藤　妙子

目 次

・臨床栄養師研修施設に認定されました
・食は文化
・NST（栄養サポートチーム）研修
・職場体験
・患者支援センターは
　患者さんの療養生活をサポートします
・松涛会交換研修会
・見守り声かけ訓練 in 安岡
・松涛会作品展示
・節分祭

臨床栄養師研修施設に認定されました

安岡病院　栄養ケア・マネジメント(NCM)室　林　辰美

安岡病院と特養はまゆう苑は、日本健康・栄養システム学会（三浦公嗣理事長）から臨床栄養師研修施設に認定されました。管理栄養士が臨床栄養師をめざして、栄養ケア・マネジメントの質の向上に努める能力の研鑽の場として研修を受け入れます。全国に 330 施設、県内に当法人を含めて 6 施設、下関市では最初の認定施設です。

この認定により、安岡病院は診療報酬「栄養サポートチーム加算」の所定の臨床研修 10 時間の研修施設になりました。

承認の報告には、「三浦理事長も、貴法人には（厚労省老健局長在任中に）二度、伺ったことがありますと、研修施設になってくださったことをお喜びになられていました。」と追記がありました。

臨床栄養師研修施設認定証

社会医療法人 社会福祉法人 松涛会

（社会医療法人松涛会 安岡病院・社会福祉法人 特別養護老人ホーム はまゆう苑）　殿

臨床栄養師臨床研修実施細則第２条第２項に基づき、臨床栄養師認定審査会で貴施設について臨床研修施設要件を審査した結果、適格と認めましたので、貴施設を臨床栄養師研修施設と認定し、臨床研修の実施を委託いたします。

認定日：令和６年１月25日

一般社団法人 日本健康・栄養システム学会

理事長 三浦 公嗣

NCM

食は文化

ケアハウス・オリーブ　相談員　秋本　哲弘

２月９日は『フクの日』。この日、ケアハウスオリーブでは、この時期の恒例行事である「鍋の日」が行われ、昨年に引き続き、入居者の皆様にふく鍋を召し上がって頂きました。

昼食の時間、食堂に来られた入居者の皆様は、テーブルに用意された普段よりも豪華な食事を見て笑顔に。

席に着かれてから鍋に火を点け、鍋から上がる白い湯気、ぐつぐつと鍋が煮える美味しそうな音、ふくのあらから取った出汁の香りを愉しんで頂き、そして、鍋が食べ頃になった頃、梅酒で乾杯！

この日はふく鍋の他に、ご飯、鶏のから揚げといった内容で、ご希望の方には、締めの雑炊セットをご用意。デザートはイチゴと昭和喫茶風のアイスクリームでした。お鍋と一緒にお酒を愉しまれる方もおられ、ほんのり赤くなった顔で会話も弾みます。いつもと違う華やかな雰囲気もあり、小食の方もしっかりとデザートまで。

今回の「ふく鍋」以外にも、オリーブでは、年４回、季節ごとの旬の食材を使った料理を召し上がって頂く「ワンプレートランチ」の日があります。

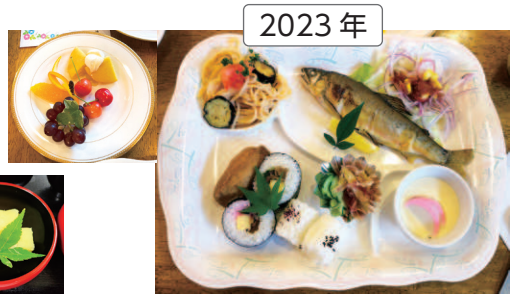
開設当時より「食は文化です」をテーマに、入居者の皆様に食の楽しみを提供してまいりました。

これからも、食を通じて健康づくりをお手伝いできるように、そして何よりも皆様の美味しい笑顔が見られるように給食スタッフと共に、食の楽しみを提供させて頂きたいと思います。

2024 年

2022 年

2023 年



コロナ禍以前はバイキングをしていました

NST（栄養サポートチーム）研修

2010 年４月１日診療報酬に「栄養サポートチーム加算」新設から 14 年。いま栄養サポートチームでの**「食べること」**の支援が注目されています。

診療報酬「栄養サポートチーム加算」を取得するための研修です。栄養サポートチームの専従者及び専任者となる常勤の医師・看護師・薬剤師・管理栄養士、歯科医師、歯科衛生士、臨床検査技師、理学療法士、作業療法士、社会福祉士、言語聴覚士が対象です。

今期に限り、費用の半分を安岡病院が負担します。（職員）

職場体験

安岡病院　副看護部長　軍神　弘美

2月14日から3日間、下関工科高等学校の１年生３名が安岡病院へ職場体験に来られました。病棟では患者さんのケアを見学し、患者体験や患者さんとのふれあいを通して、看護師や介護士の仕事の楽しさややりがいを伝えることができました。

また、薬剤科、リハビリ科、放射線科、検査科などを見学し、それぞれの専門職になるための方法や仕事の内容についても学ぶことができました。「貴重な体験ができ、将来の職業選択の参考にしたいです」との感想をいただきました。

患者支援センターは患者さんの療養生活をサポートします

安岡病院　患者支援センター　医療相談員　野村　佳奈江

患者支援センターでは入院・外来を問わず患者さんの療養生活に伴う様々な心配事のご相談に応じています。看護師4名、医療相談員8名が勤務しています。

病気や障がいがあっても、安心して療養し、地域での生活を送れるよう、療養生活や退院後の問題や不安事、各種制度の説明と利用案内等、ご相談を伺い、医療・福祉の専門職と連携を取り、療養生活をサポートします。

「こんなことを相談していいのだろうか…」と悩まずにまずはご相談下さい。一緒に考えていきましょう。

松涛会交換研修会

松涛会には両法人に同一サービス事業所が複数存在します。

この度、法人の垣根を越え、別法人の同サービス事業所へ留学することにより、自事業所とは異なる運営を体験してもらうことで、新たな発見を行い、良い点は自事業所へ積極的に取入れてもらいたいとの意向から当制度を創設しました。

～報告書抜粋～

留学先：GHフロイデ彦島

「同じ2ユニットのグループホームではあったが、ユニットごとに完全に生活空間を分けることで、職員も入居者も静かで、落ち着いているのが印象的であった。入居者は思い思いに気に入った場所でくつろぎ、職員も無理なく余裕のある介護をしているように感じた。当日は、外出支援で紅葉狩りに出かけており、外出支援の取り組み方や日中の過ごし方等、わたぼうしでも参考にしたい。」

グループホーム わたぼうし　事業所長　廣瀬　知佳

海風
春号 No.77
発行年月日／令和６年４月１日　発行元／社会医療法人・社会福祉法人 松涛会 〒759-6604 下関市横野町三丁目16番35号
☎ 安岡病院 083−258−3711　はまゆう苑 083−258−3800　https://www.syoutoukai.or.jp

見守り声かけ訓練 in 安岡

安岡・吉見地域包括支援センター　社会福祉士　福本　由美

安岡・吉見地域包括支援センターでは、認知症理解の普及啓発に取り組んでいます。その一環として、安岡地区まちづくり協議会と共同で、見守り声かけ訓練を令和６年１月27日に行いました。

安岡地区の住民 13 名の方が参加、４人一組になって公民館を出発し徘徊役捜査、声かけを行いました。発見通報後、徘徊役を公民館まで誘導。その後グループで訓練について振り返りを行いました。参加者からは「訓練することは大事。繰り返すと良い」という声がありました。今後も継続していたきいと考えています。

声かけ中

グループで振り返り

松涛会作品展示

広報委員会

1月22日～3月1日にかけて、利用者さん・患者さんと職員が作成した作品を山口銀行安岡支店様・彦島支店様、下関東郵便局様にご協力を頂いて展示させていただきました。

切り紙や紙のお花や折り紙等、ご覧いただいた方を楽しませることができたと思います。

節分祭

グループホームフロイデ金比羅　介護職員　富樫　美貴

2月3日に毎年恒例の『節分祭』を行いました。

全員で「鬼は外、福は内‼」と言いながら、この一年も元気に過ごせるよう邪気払いしました。

一番盛り上がるのは、職員扮する鬼が登場する時です。皆様笑顔いっぱいで楽しい会となりました。

看護師・介護士・保育士・調理員募集

（介護士・調理員は資格のない方もＯＫです。）

問い合わせ先

お気軽にご相談下さい。

●社会医療法人松涛会安岡病院 担当 / 人事係　安岡病院　検索
☎083-258-3711

●社会福祉法人松涛会はまゆう苑 担当 / 法人事務局　はまゆう苑　検索
☎083-258-3800